

授業科目名	専門演習 (卒研含む)	科目コード	G3504F07
英文名	Major Seminar II (including Graduation Thesis)		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日 水曜日	時限	3限目 2限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	専攻必修	単位数	12単位

授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザイン」「住環境デザイン」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「住環境デザイン」と「住環境デザイン」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。「住環境デザイン演習」では、プレゼンテーション力の養成、「都市空間デザイン」では、住環境産業の理解を行ってきた。学んだ知識や問題意識に基づき、「専門演習」で行った卒業研究のテーマの絞り込みに従い、4年間の学習の成果を卒業論文をまとめることによって集大成する。(担当教員:企業での実務経験豊富)(関連SDGs:目標7、目標11、目標12)</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	研究計画	プレゼンテーション	地域と住宅	住宅設計	住宅生産
-------	------	-----------	-------	------	------

到達目標	研究計画を立案しそれを実行できる。(20%)
	研究論文をまとめることができる。(50%)
	研究発表をおこなうプレゼンテーション力を身につける。(30%)

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
			/	/

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
/		/			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年間の計画とテーマ設定	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第2回	卒業論文の進め方	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第3回	調査研究の方法	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第4回	調査研究の方法	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第5回	卒業研究計画書の報告	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第6回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第7回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第8回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第9回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分

第10回	各自の調査研究	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第11回	中間発表の準備	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第12回	調査結果の図式化	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第13回	調査結果の図式化	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第14回	調査結果の図式化	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第15回	前期の振り返りと今後の研究計画	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第16回	論文提出と発表予定に関する計画	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第17回	各自の調査研究と論文ドラフト	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第18回	各自の調査研究と論文ドラフト	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分

第19回	各自の調査研究と論文ドラフト	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第20回	各自の調査研究と論文ドラフト	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第21回	研究進捗の発表	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第22回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第23回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第24回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第25回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第26回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第27回	論文ドラフトと検討	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分

第28回	論文発表プレゼン準備	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第29回	論文発表プレゼン準備	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第30回	4年間の振り返り	
	【予習】	
	【復習】ゼミにおいて研究の進捗状況の確認を行う。遅れている場合は、次回のゼミまでに自分で設定した進捗まで進めることを復習課題とする。	120分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回のゼミで各自の課題解決に向けた取り組み状況の報告とその後の計画を確認していく。取り組み状況の結果（約50％）と、そこに至るプロセス（約50％）を総合的に評価する。ゼミに毎週出席すればいいのではなく、自分で計画を立て、それを実行し、問題点をゼミの中で確認し、その改善を次週に実行していくことができたかを評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p> <p>ディプロマ・ポリシー（DP）の配分比率：人間性（20％）、社会性（20％）、専門性（60％）</p>		
使用資料 <テキスト>	テキスト：オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 <参考図書>	授業の内容はSNS上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に応
授業外学修等	授業以外に、各自との個人面談を実施し、前期においてゼミ合宿を行う予定である。また、「北陸の家づくり設計コンペ」にグループで参加予定である。また、適切な学会発表を予定している。		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。</p> <p>メールアドレス：kawamoto@tuins.ac.jp</p> <p>SNS：<a href="https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel">https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel</a></p>		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室（439室）にて		